

事務局	<p>【委員紹介】</p> <p>【委嘱状、任命書及び指名書交付】</p> <p>なお、本規約では、「会長は委員の互選によって定める」となっておりますが、これまでどおり引続き姫路市都市整備担当理事の柴田委員にお願いすることによってよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>異議なしの声をいただきましたので、柴田委員に会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>【会長就任の挨拶】</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>【配付資料の確認】</p> <p>それでは、本分科会規約第6条の規定により、会議の進行につきまして、会長よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>会議次第「3 審議事項」の「(1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）の事業評価について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局説明】 (議題) 「令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）の事業評価について」</p>
会長	<p>只今の説明につきまして、ご意見・ご質問等はございませんか。</p>
委員	<p>家島コミュニティバスの1日あたりの乗車人員の目標を40人から35人に引き下げたことについて、説明の中でコロナ禍による外出自粛と人口減少が原因とありました。人口減少については44%減となっており、非常に大きく減少しています。しかし、家島地域は人口減少の一方で高齢人口は増えており、また、コミュニティバスを利用するのは車の運転ができない高齢者が多いと思います。例えば高齢夫婦で、今まで車を運転していた夫が亡くなったとします。運転ができない妻は、コミュニティバスを利用することになると思います。人口減少の一方で、コミュニティ</p>

事務局	<p>バスの利用者が増えるケースもあるなか、目標を下げてでもいいのかと感じます。また、家島交流センターの移設に伴いコミュニティバスの利用者が増えることも大いに考えられますので、目標を下げるには時期が早かったのではないかと感じます。</p> <p>人口減少について、家島地域は平成 22 年から令和 5 年度にかけて 44%減少、坊勢地域については 30.6%減少しております。ご指摘のとおり、高齢者人口については増加する傾向にあります。しかし、地域公共交通のガイドラインに基づく目標値は夜間人口の 1%以上と決められていますが、家島・坊勢地域については姫路市全体と比べ人口減少が著しい一方、コミュニティバスが必要不可欠な地域であり、高齢者人口も増えているということ踏まえて、目標値を夜間人口の 1.5%として設定し、令和 5 年 6 月開催の陸運分科会において承認をいただきました。今後も地域の足として必要不可欠なコミュニティバスを引続き維持していくために、利用促進等を図ってまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にご質問等ございませんか。</p>
委員	<p>先ほどの事務局の説明の中で、行事が少なくなっているという話があったと思います。私ども老人クラブでも行事の減少により利用者が減ったということがあったのですが、コミュニティバスでも同じことが起きているということでしょうか。</p>
事務局	<p>利用者の減少について、詳細な理由は把握できておりませんが、人口減少が全国共通で大きな理由だと思います。しかし、利用者が減少したからといって単に便数を削減するということではなく、区会と連携しながら、どのようなニーズがあるのかを把握・分析した上でダイヤ改正等を行い、利用に繋げていきたいと考えております。</p>
委員	<p>行事が少なくなったというご説明があったと思うのですが。</p>
事務局	<p>人口減少に加えてコロナ禍で外出機会が少なくなり、それに伴い利用者も減っているのが実情であると考えております。コロナも第 5 類になり、家島交流センターの移設や地元イベントの増加等により、利用者も増えるのではないかと考えております。今後も地元と共に利用促進に努めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>ぜひ期待しております。運転手についてですが、家島では運転手 1 名を確保できたとのことですが、坊勢については進展はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>運転手確保については家島・坊勢ともに共通の課題であります。坊勢につきましては、平均年齢が 45 歳ほどであり比較的若いため、今後も長期的に継続して運転いただけるものと考えております。しかし、運行ダイヤ等、柔軟に見直すためにも、引続き運転手の募集を区会とともにを行い、運転手の確保に取り組んでいきたいと考え</p>

委員	<p>ております。</p> <p>冒頭で説明のありました事業評価についてお聞きします。定量的な目標設定等、内容は分かりましたが、実際の利用者の意見はまとめていないのでしょうか。資料を見る限りは記載されていないようですが、定性的な部分の評価はどのようにされているのか、記載内容では利用者が必要性を感じているのか疑問に感じました。</p>
事務局	<p>様式に基づいて定量的な部分をご報告させていただきました。定性的な部分につきましては、定期的に地元の意見を聞きながら運行に努めております。坊勢コミュニティバスについては、航路との接続性向上のほか、ぼうぜ医院の通院利用者の積み残しに対応するため、令和4年10月1日にダイヤ改正を行いました。このように地域ニーズに合わせてダイヤ改正等を行っております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。今後、高齢化や人口減少が進む中で、高齢者の免許返納後の移動手段の課題が常に出てくると思います。そのような中、このようにA、B、Cという評価が出てしまう以上、定量設定というのは非常に怖いと感じますし、なによりも地域の声を重視しなければならないと思います。地域の声を数値化できたらと感じました。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございます。定期的に地元の意見を聞きながら、ダイヤ改正や増便等を行い利便性向上に努めております。地元の意見は重々に聞き、重視しております。</p> <p>他にございませんか。ないようですので審議事項についてお諮りします。承認としてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
会長	<p>ありがとうございます。原案どおり承認といたします。</p>
会長	<p>次に、「(2) 自家用有償旅客運送の更新について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局説明】 (議題) 「自家用有償旅客運送の更新」</p>
会長	<p>只今の説明につきまして、ご意見・ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>資料2の「キロ程」について、資料1の8、9ページの数字と相違があるように</p>

	<p>思います。</p>
事務局	<p>以前、重なっている部分の距離は省くようにご指導いただき、そのように記載しております。8、9ページについては実走キロを記載しており、資料2の「キロ程」に関しては重なっている部分を省いたキロを記載しております。</p>
委員	<p>分かりました。確認のうえ、改めてご連絡いたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。よろしく願いいたします。 他にございませんか。ないようですので、原案どおり承認としてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
会長	<p>ありがとうございます。原案どおり承認といたします。</p>
会長	<p>次に、「(3) 高木地域デマンド型乗合タクシーのダイヤ改正について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局説明】 (議題) 「高木地域デマンド型乗合タクシーのダイヤ改正について」</p>
会長	<p>只今の説明につきまして、ご質問等はございませんか。</p>
委員	<p>高木地域デマンド型乗合タクシーにつきまして、ご予約をお電話で受ける際、オペレーターから利用者に意見や要望を聞くようにしております。その中でいただいた意見を姫路市と共有し、今回のダイヤ改正に反映しております。DXやAI活用が進む世の中ではありますが、このように利用者の意見を反映できたことは人と人との関わってできた結果であると感じます。今回、運行時間を10時からに変更いたしました。以前から運転手を通して利用者の方からこのような意見をいただいております。こちら側も可能であると判断しての変更となりました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。高木地域デマンド型乗合タクシーについては、姫路タクシーと協力して公共交通空白・不便地域の解消に向けて取り組んでおります。先ほどご発言いただきましたとおり、利用者の方の意見を丁寧に拾い上げ、今回のダイヤ改正に繋げております。今後も引き続き、利用者の方のニーズに沿って、最適な公共交通となるように取り組んでまいりたいと思います。</p>
委員	<p>こちらは往復で利用する場合はどのようにすれば良いのでしょうか。帰りの時間</p>

	は決まっているのですか。
事務局	予約時に、帰りの時間もあわせてご予約いただきます。
委員	分かりました。
会長	他にございませんか。ないようですので、原案どおり承認としてよろしいでしょうか。
委員	異議なし
会長	ありがとうございます。原案どおり承認といたします。
会長	次に、会議次第「4 報告事項」の「(1) 地域公共交通会議の組織改正について」事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>【事務局説明】 (報告事項) 「地域公共交通会議の組織改正について」</p>
会長	只今の説明につきまして、ご質問等ございませんか。
委員	運賃改定手続きにおいて協議を行う必要があり、このような枠組み、制度ができるということは理解できるのですが、その際、航路と一体で船とバスの運賃を設定するような議論があった場合、どのようにすれば良いのでしょうか。
委員	バスに関しては神戸運輸監理部兵庫陸運部に提出いただき、船に関しては神戸運輸監理部に提出となり、それぞれの事業者からの申請となります。割引設定等の話になると思いますが、どのように処理されるか決めていただき、それを基に届け出いただくことになるかと思えます。
会長	ありがとうございました。他にご質問等ございませんか。 報告事項案件は、以上となります。
会長	次に、「5 その他」となります。本日は、委員の皆様にお集まりいただきおますので、この際にご意見・ご質問等ございましたら、ご発言お願いいたします。
オブザーバー	2点紹介させていただきます。1点目は「バス・タクシー運転士確保に向けた取組」です。全国的に運転士不足が顕著な課題となっている中、本県でも2024年問題を待たずにバス路線の廃止や減便の影響がでている状況であり、県内の地域公共交

	<p>通を維持するためにも資料のような取組を行っています。バス等への掲示にご協力いただければと思います。</p> <p>【当日配付資料説明】 (その他報告) 「バス・タクシー運転士確保に向けた取組（兵庫県）」</p> <p>2点目は「自転車ヘルメット購入応援事業」です。こちらも兵庫県での取組です。令和5年4月から、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。しかし、兵庫県でのヘルメット着用率は全国のワースト7位となっており、非常に低い状況です。より安全な自転車利用を推進するためにこのような事業を行っています。</p> <p>【当日配付資料説明】 (その他報告) 「自転車ヘルメット購入応援事業（兵庫県）」</p>
会長	<p>ありがとうございました。他にご意見等ありませんか。</p>
委員	<p>先ほどご説明いただいたヘルメット購入応援事業について、利用させていただきました。申請を終え、還元を待っている状態です。このような事業を見ると特に感じるのですが、前回の会議でも申し上げましたが姫ちやりには何故いまだにヘルメットがないのでしょうか。この会議でこのようにヘルメット着用推進のチラシが出ており、自転車は新しくリニューアルされたのに何故でしょうか。ヘルメットの貸出しを行っているようですが、一般の利用者や観光客はかぶっていないのが現状ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>ヘルメットの着用につきまして、前回からご指摘いただいておりますとおり、努力義務ではございますが着用が必要であると認識しております。しかし、コロナの影響で他人とヘルメットを共有することの抵抗や、サイズが合わないこと、管理費用がかかること等、衛生面やコスト面での課題があります。姫ちやりは令和5年11月に新システムが稼働しており、駅前のレンタサイクル駅リンクんの有人ポートでヘルメットの貸出しを行っております。今後は貸出しの有人ポートを増やしていくために事業者と協力し、また、ホームページやアプリで周知するなど、安全啓発に努めてまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>現在、姫路駅でヘルメット貸出しを行っており、これを拡大していくとということでございます。</p>
委員	<p>衛生面のお話がありましたが、ヘルメットの下にかぶる紙のキャップについて</p>

事務局	<p>は、ヘルメット貸出しの際にあわせてお渡ししているのですか。</p> <p>有人ポートで貸出しする際に、消毒をしてからお渡しするようにしております。</p>
委員	<p>観光客は姫路市がどのような取組をしているかよく見ていると思います。ヘルメット貸出しの際には使い捨ての紙キャップを一緒に渡すであったり、観光中になくさないようにヘルメットを入れる袋を渡すであったり、そのようなきめ細かい取組をしてもらいたいと思います。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございます。その点につきましては、重々に研究させていただきます。ほかにご意見等ありませんか。</p>
委員	<p>先ほど、運転士確保の取組についてお話いただきましたが、現在の実態について、交通事業者にお聞きしたいと思います。どれくらい不足しているのか、また、姫路市内ではどのような現状なのかお聞かせください。</p>
委員	<p>タクシーにつきましては、コロナ禍の影響で県内で2割5分のタクシー乗務員が業界を去りました。それから現在まで、市内では少しづつではありますが運転手が確保できつつある状況です。事業者にヒアリングしたところ、現在運転手に応募されている方の年齢は若い方も見受けられるようです。今年の1月からJR姫路駅のタクシープールの第2プールの稼働を再開しており、少しずつ稼働台数が改善されています。しかし、今も需要が集中する午前中や夕方、天候によってはご不便をおかけする時間帯があるという現状でございます。</p>
委員	<p>バスにつきましては、全社的には年末時点で定数に対して50人の運転士が不足している状況です。最近兵庫県からのご支援等をいただき、徐々に採用も増えてきています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ほかにご意見等ありませんか。</p> <p>ほかにご意見もないようですので、以上で本日の審議を終了します。</p> <p>事務局に進行をお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様におかれましては、熱心にご審議をいただきましてありがとうございました。なお、本日の審議結果に基づきまして、必要な手続等を進めて参ります。</p> <p>それでは以上をもちまして第19回 姫路市地域公共交通会議陸運分科会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p> <p>以上</p>